

紹介

## 平成 30 年度アジア地域臨床獣医師等総合研修事業の開講

本事業（日本中央競馬会特別振興資金助成事業）は平成 30 年 4 月 2 日に第 2 期研修生を迎え、翌 3 日に開講式を実施した。その後約 1 週間にわたり、日本語研修、獣医学関連施設等訪問（農林水産省、製薬会社研究所、

動物医薬品検査所）を行った。10 日より順次、全国の獣医学系大学において家畜の越境性感染症等に関する研修が開始されている。

研修生氏名	出身（所属等）	研修先大学
ウランゴウ・ツォグトバター	モンゴル（中央獣医学研究所）	日本大学
ホウ・シャントオ	中国（山東獣医職業学校講師）	東京農工大学
イ・ホンジュ	韓国（大田市動物衛生試験所）	東京大学
ケイ・シギ	台湾（小動物臨床）	酪農学園大学
クリストファー・ルヨング	フィリピン（公務員（野生動物救護））	北海道大学
ヨリ・ズルファネディ	インドネシア（動物衛生センター）	山口大学
カーン・デュアンタティップ	タイ（カセサート大学附属動物病院）	宮崎大学
ソー・ティリ・カイ	ミャンマー（家畜繁殖センター（国家公務員））	麻布大学
サミタ・ミーガハクトウワ	スリランカ（州家畜生産・衛生局）	大阪府立大学
トランニヤ・タン	ベトナム（タイグエン農林大学講師）	岩手大学
プラモド・ラ・バッタ	ネパール（警察犬訓練学校）	鹿児島大学



図 1 プラモド・ラ・バッタ研修生による自己紹介



図 2 日本語研修を受ける研修生



図 3 農林水産省消費・安全局畜産安全管理課 石橋朋子 調査官から同省の業務内容等の説明を受ける研修生



図 4 フジタ製薬(株) 松井克規製造品質統括取締役からのわが国の動物用医薬品製造に関する現状等の解説に耳を傾ける研修生